

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-110595

(43)公開日 平成5年(1993)4月30日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 L 12/54

12/58

G 0 6 F 13/00

3 5 1 G 7368-5B

3 5 4 D 7368-5B

8529-5K

H 0 4 L 11/ 20

1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平3-265918

(22)出願日 平成3年(1991)10月15日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 加賀 友美

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 松野 年宏

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

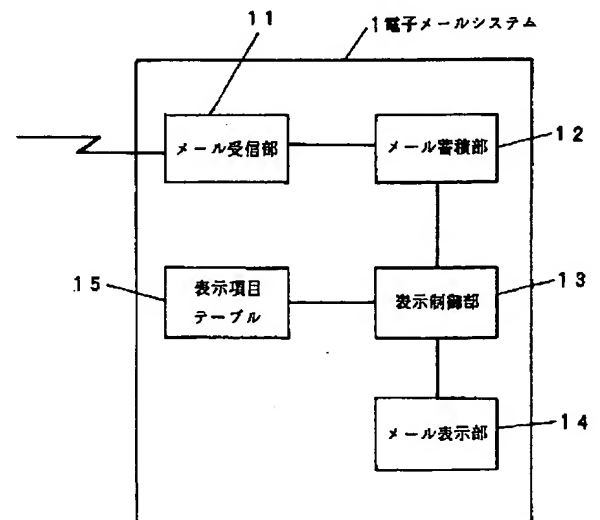
(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 電子メール宛先情報表示方式

(57)【要約】

【目的】 電子メールシステムにおいて受信したメールの不必要な宛先情報を全て表示されると言う問題点を解決し、受信したメールに対して、全ての情報から必要な宛先情報だけを取りだし、表示することによって、受信者が必要とする宛先だけを読むことができ表示手順の効率化を図る。

【構成】 受信されたメールは、一旦メール蓄積部12へ蓄えられる。受信したメールを表示する時は、表示制御部13が、該当メールをメール蓄積部12から取りだし、宛先情報の表示データを表示項目テーブル15に基づいて形成し、メール表示部14へわたす。



BEST AVAILABLE COPY

**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 受信メールを保存するメール蓄積手段と、前記メール蓄積手段に保存されたメールを表示する表示制御手段と、表示項目を設定した表示項目テーブルとを備え、前記表示制御手段が前記表示項目テーブルに基づき宛先情報を表示することを特徴とする電子メール宛先情報表示方式。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明は、計算機ネットワーク等で用いられる電子メールシステム宛先情報表示方式に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** 近年の電子メールシステムでは、送信される情報は、宛先情報とその内容に分類される。それらの表示方法はそれぞれのメールシステムで異なるが、基本的には宛先情報はすべて、メールの受信者に表示される。上記電子メールシステムの構成は図4のようになる。4は電子メールシステム、41は送信されるメールを受信するメール受信部、42は受信したメールを蓄積するメール蓄積部43は、蓄積したメールからメールを表示するメール表示部である。また、図5に、UNIX (AT&Tベル研究所で開発されたオペレーティングシステムの名称) 上で利用されている、OpenWindows (登録商標) 用のDeskSet (登録商標) 環境のアプリケーションの一つであるメールツールでのメール表示例をあげる。図5のように、受信者には、うけとったメールの内容を見ることができるが、宛先情報はすべて表示されている。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** しかしながら、上記の従来の構成では、例えば、MHSメール (CCITX、400シリーズ、ISO 10021シリーズ) 等の電子メールでは、宛先情報は、相手先のみならず、メール内容の重要度や、優先度の情報も含まれる。このような情報は通常のメールを参照する上では、緊急に表示する必要はなく、受信者は、不必要な宛先情報を参照しなければならないと言う問題点を有している。

**【0004】** 本発明は、上記問題を解決するもので、送信されたメールに対して、受信者が必要とする宛先情報を表示することができる電子メール宛先情報表示方式を提供するものである。

**【0005】**

**【課題を解決するための手段】** この目的を達成するために本発明の電子メールシステムは、メール受信手段、及び受信メールを蓄積するメール蓄積部、メール内容を表示する表示制御部、及び表示部を持ち、表示制御部は受信したメールの宛先情報に対して、予め表示する項目を設定してある表示項目テーブルから、宛先表示項目を作成するを選定する手段を持つ、構成を有している。

**【0006】**

**【作用】** この構成によって、受信したメールの宛先情報を、予め必要とされている情報に絞って表示データを作成して受信者に表示することにより、必要な情報を優先に受信者に表示し、表示手順の効率化が図れる。

**【0007】**

**【実施例】** 以下に本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。図1において、1は電子メールシステム、11はメール受信部、12はメール蓄積部、13は表示制御部、14はメール表示部、15は表示項目テーブル。電子メールシステム1は、メール受信部11によって、外部からメールを受信する。受信されたメールは、一旦メール蓄積部12へ蓄えられる。受信したメールを表示する時は、表示制御部13が、該当メールをメール蓄積部12から取りだし、予め設定してある表示項目テーブル15にそって宛先情報を形成し、メール表示部14へわたす。

**【0008】** 以上の様に構成された電子メールシステムの表示制御部13の動作について、例を上げて説明する。図2 (a) は表示制御部13の処理フローを示す。

表示制御部13は宛先表示の指示をうけて、対象のメールをメール蓄積部12から取り出す。対象メールの宛先情報から、予め設定してある表示項目テーブル15に表示指示されている項目を選択し、表示データを形成する。図2 (b) は表示項目テーブルの設定例である。本実施例ではMHSメールでの宛先情報を基にしている。

**【0009】** 図3に、図2 (b) のテーブルを用いて宛先情報を形成した例を示す。図3 (a) は一般的なメールの宛先情報の概要である。図3 (c) は宛先情報を全て表示した例である。図3 (a) で受信された全ての情報が表示され表示サイズも大きくなっている。図3 (b) は本実施例での宛先情報の表示例である。

**【0010】** 表示項目テーブルには、To: (宛先)、Subject: (標題)、Enclosure: (メール本体のタイプとファイル名) を表示する用に設定されているので、図3 (c) の様に表示データは形成される。受信者は、表示したい項目を設定しておけば、その設定項目だけの宛先情報を表示することができる。また必要な時だけ全項目を設定する様にすれば、全項目表示の様に切り替えられ、図3 (c) の形式で表示し通常は図3 (b) の形式で表示することで、不必要な宛先情報を表示せずメールを読むことができ表示手順の効率化をはかることができる。

**【0011】** 尚、本実施例ではMHSメールを基に例を上げているが、MHSメールに限定されるものではなく、また、メールの受信方法、蓄積方法も本発明での制限はない。

**【0012】**

**【発明の効果】** 以上のように本発明は、メールを受信制御するメール受信手段と、受信したメールを保存するメ

ール蓄積手段と、受信したメールを表示する表示制御手段、表示手段を持ち、メール受信制御手段が、表示する項目を設定している表示項目テーブルから表示する宛先項目を作成することにより、メールの必要な宛先情報のみを表示し、メールの表示手順を効率化することができる電子メール宛先情報表示方式を実現するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における電子メールシステムの構成図

【図2】(a) 本発明の一実施例における表示制御手段の処理フロー図

(b) 本発明の一実施例における表示項目テーブル値例図

【図3】(a) 本発明の実施例における宛先情報の構成図

(b) 本発明の実施例における宛先情報の表示例図

(c) 本発明の実施例における全宛先情報表示例図

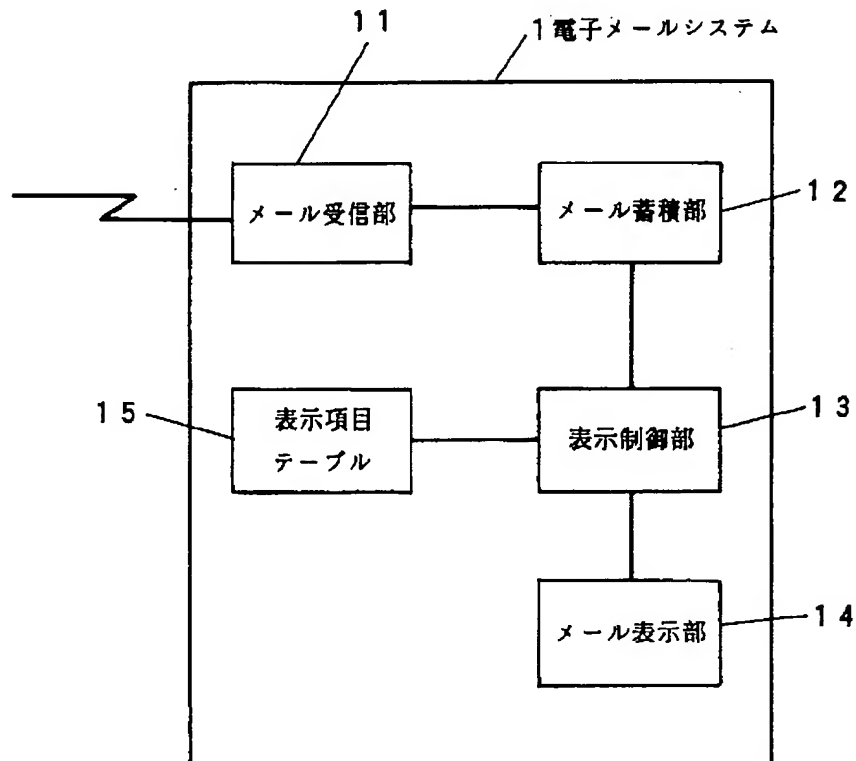
【図4】従来の電子メールシステムの構成図

【図5】従来の電子メールシステムの表示例図

【符号の説明】

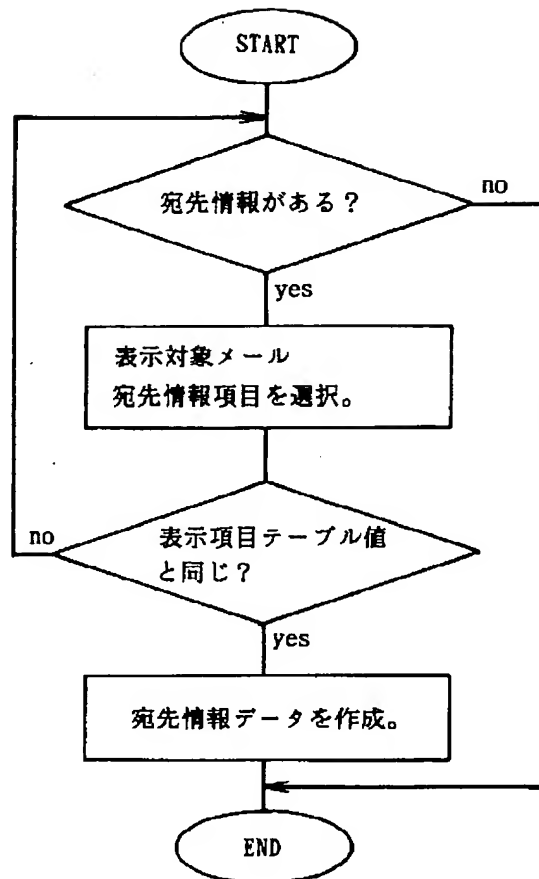
- 1 電子メールシステム
- 11 メール受信部
- 12 メール蓄積部
- 13 表示制御部
- 14 メール表示部
- 15 表示項目テーブル

【図1】



【図2】

(a)



(b)

表示項目	表示種類
To:	有り
Cc:	無し
Bcc:	無し
Subject:	有り
priority:	無し
importances:	無し
Enclosure:	有り

【図3】

(a)

To:kaga tomomi  
Cc:Matsushita tato  
Bcc:Matsushita jiro  
Subject:meeting  
priority:normal  
importances:high  
Enclosure:text abcdefg.dat  
Enclosure:voice sound.dat

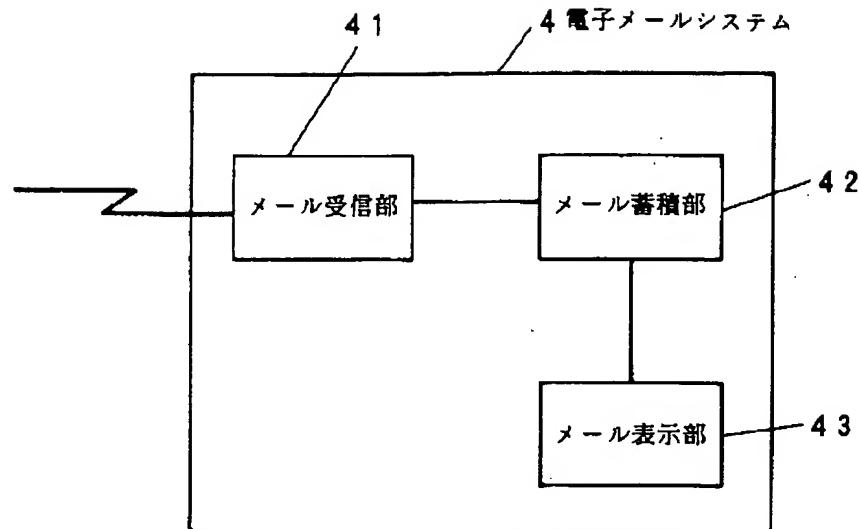
(b)

To:	kaga tomomi	
Subject:	meeting	
Enclosure:	text	abcdefg.dat
	voice	sound.dat

(c)

To:	kaga tomomi	
Cc:	Matsusita taro	
Bcc:	Matsusita jiro	
Subject:	meeting	
Enclosure:	text	abcdefg.dat
	voice	sound.dat
Priority:	normal	
Importance:	high	

【図4】



【図5】

メールツールにメッセージを表示

From: samisakura (Sami Aino - Hihon Sun Mail Specialist)  
 Message-Id: C9011200624.AA28321@sakura.japan.sun.co.jp  
 To: shinosakura, hideosakura, hisakazusakura, ikusakura,  
 kumatsusakura, kawasakusakura, kyodousakura, masahisakura, osanosakura,  
 osatousakura, sakumisakura, norikousakura, sandasakura, sateshisakura,  
 seinosakura, shinosakura, shioosakura, toshisakura, susukusakura,  
 umatsusakura, yamazakisakura, yamakisakura, yunousakura, yusousakura  
 Subject: Health Check  
 Cc: fumi@sakura, hayasakura  
 Status: R

健康診断（第二回）のお知らせ

10月に健康診断を受けできなかった方のために、下記のスケジュールにて  
 健康診断の第2回目を受け取ります。  
 なるべく健康診断を優先的に最速のスケジュールをたてて下さるよう  
 お願いをいたします。  
 業務の都合などで、変更のある方は、11月21日（木）までに  
 必ずご連絡ください。  
 1日につき4人までしか受け取れませんので、変更のある場合は  
 他の方と入れ替わって頂くことになります。

【編集】

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**